

# 令和5年度 学校評価



あさぎり町立深田小学校

令和5年度 学校評価項目一覧 深田小学校

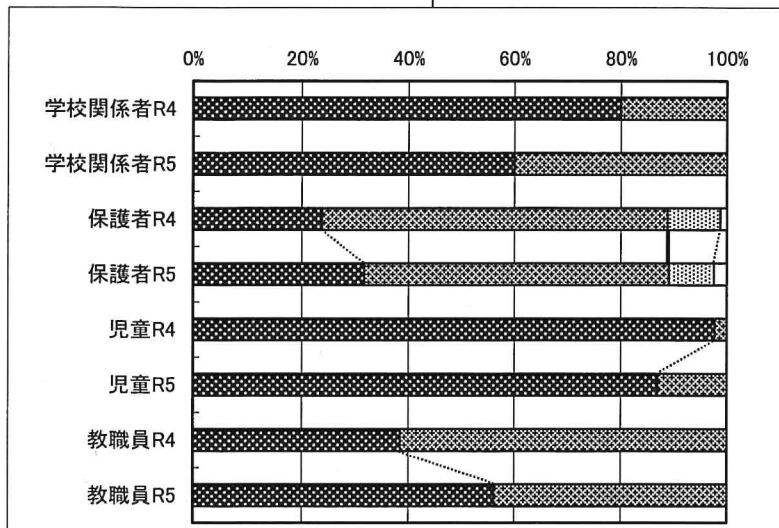
領域	No		評 価 項 目
学校教育目標	1	教育方針・目標の理解	関 学校は、学校の教育方針や教育目標などをわかりやすく示していると思いますか。
			保 学校は、家庭に学校の教育方針や教育目標をわかりやすく示していると思いますか。
			子 先生は、学校の目標や校訓の意味などをわかるように教えてくれていますか。
			教 学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。
	2	充実した学校生活	関 子どもは、充実した学校生活を送っていると思いますか。
			保 お子さんは、充実した学校生活を送っていると思いますか。
			子 学校は楽しいですか。
			教 児童は、充実した学校生活を送っていると思いますか。
教科指導	3	授業づくりの工夫	関 学校は、わかる授業、丁寧な授業づくりに努めていると思いますか。
			保 学校は、わかる授業、丁寧な授業づくりに努めていると思いますか。
			子 先生は、授業でわかりやすく、ていねいに教えてくれますか。
			教 学校全体で、わかる授業、丁寧な授業づくりに努めていると思いますか。
	4	主体的な学習態度	関 子どもは、主体的に授業に取り組んでいると思いますか。
			保 お子さんは、主体的に授業に取り組んでいると思いますか。
			子 あなたは、自分から進んで授業を受けていますか。
			教 児童は、主体的に授業に取り組んでいると思いますか。
郷土愛 キャリア教育	5	郷土愛の醸成とキャリア教育の推進	関 学校は、郷土を愛する心や、仕事や勤労及び将来について考える力の育成に取り組んでいると思いますか。
			保 学校は、郷土を愛する心や、仕事や勤労及び将来について考える力の育成に取り組んでいると思いますか。
			子 先生は、ふるさとや、身のまわりで働く人や係活動などの大切さについて教えてくれていますか。
			教 学校全体で、郷土愛や、仕事への関心や勤労及び将来について考える力の育成を行っていると思いますか。
道徳教育	6	道徳、心の教育の充実	関 学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にする「心の教育」の充実に努めていると思いますか。
			保 学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にする「心の教育」の充実に努めていると思いますか。
			子 先生は、思いやりの心や感謝の心などの大切さを教えてくれていますか。
			教 学校全体で、思いやりの心や感謝の心などを大切にする「心の教育」の充実に努めていると思いますか。
	7	あいさつ、礼儀の励行	関 子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。
			保 お子さんは、あいさつがきちんとできていると思いますか。
			子 あなたは、あいさつがきちんとできていますか。
			教 児童は、あいさつがきちんとできていると思いますか。
人権教育	8	一人一人の児童の尊重	関 学校は、一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていると思いますか。
			保 学校は、一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていると思いますか。
			子 先生は、あなたを大切にしてくれていますか。
			教 学校全体で、一人一人の児童を大切にした指導や対応ができていると思いますか。
	9	友だちへの思いやり	関 子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。
			保 お子さんは、友だちとなかよくしていると思いますか。
			子 あなたは、友だちとなかよくしていますか。
			教 児童は、友だちとなかよくしていると思いますか。
学校行事	10	学校行事への参加と工夫	関 学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。
			保 学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。
			子 学校の行事（運動会や学習発表会など）は、楽しく、思い出に残るものとなっていますか。
			教 学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。

生徒指導 教育相談	11	児童理解	関	学校は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。
			保	学校は、子どものことをよく理解していると思いますか。
			子	先生は、あなたのことをよくわかってきていると思いますか。
			教	学校全体で、児童のよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。
	12	規範意識	関	子どもは、規則やマナーを守っていると思いますか。
			保	お子さんは、規則やマナーを守っていると思いますか。
			子	あなたは、きまりやマナーを守っていますか。
			教	児童は、規則やマナーを守っていると思いますか。
	13	いじめや問題への対応	関	学校は、いじめや問題があったとき、素早く組織的な対応に努めていると思いますか。
			保	学校は、いじめや問題があったとき、すぐに複数の教師がチームで解決に向け動いてくれていると思いますか。
			子	先生は、いじめやこまったことがあったときは、すぐによく話を聞いて、解決してくれていますか。
			教	いじめや問題があったとき、迅速に話を聞いたりして組織的に対応している学校であると思いますか。
安全管理	14	安全と事故防止	関	学校は、子どもの安全と事故防止の指導に努めていると思いますか。
			保	学校は、子どもの安全と事故防止の指導に努めていると思いますか。
			子	先生は、安全に生活したり、事故に合わないための方法についてよく教えてくれていますか。
			教	学校は、子どもの安全と事故防止の指導に努めていると思いますか。
保健管理	15	健康教育と食育の推進	関	学校は、食事や睡眠、感染症対策など健康に対する意識を高めようとしていると思いますか。
			保	学校は、食事や睡眠、感染症対策など健康に対する意識を高めようとしていると思いますか。
			子	先生は、食事の大切さや新型コロナウイルス感染症のことなど、体の健康について教えてくれますか。
			教	学校全体で、食事や睡眠、感染症対策など健康に対する意識を高めようとしていると思いますか。
学校環境	16	環境の整理・美化	関	学校は、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。
			保	学校は、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。
			子	学校は、きれいだと思いますか。
			教	学校は、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。
	17	施設・設備の安全管理	関	学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。
			保	学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。
			子	学校は、安全だと思いますか。
			教	学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。
情報の公開・発信	18	学校の取組等がわかる情報発信	関	学校は、通信や便り、ホームページ等で、情報を十分発信していると思いますか。
			保	学校は、通信や便り、ホームページ等で、情報を十分発信していると思いますか。
			子	
			教	学校からの通信や便り、ホームページ等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。
	19	教育活動への参加	関	学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、参加しやすいと思いますか。
			保	学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、参加しやすいと思いますか。
			子	
			教	学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。
家庭・地域との連携	20	家庭や地域との連携協力	関	学校は、家庭や地域と連携協力しながら教育活動を進めていると思いますか。
			保	学校は、保護者や地域の方々をよく連携をとっていると思いますか。
			子	
			教	学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

読書活動	21	読書活動の推進・充実	関	学校は、読書活動の充実に向けて取組を工夫していると思いますか。
			保	学校は、読書活動の充実に向けて取組を工夫していると思いますか。
			子	先生は、本を読むことの楽しさや大切さについて教えてくれていますか。
			教	学校は、読書活動の充実に向けて取組を工夫していると思いますか。
その他	22	学力向上(家庭学習)	関	
			保	学校は、お子さんの家庭学習が進むように、その指導や働きかけの工夫を行っていると思いますか。
			子	先生は、家庭学習(宿題や自主学習)が進むように、指導や働きかけをしてくれますか。
			教	家庭学習が充実するように、その指導や働きかけの工夫を行っていますか。
	23	基本的な生活習慣	関	学校は、基本的な生活習慣の定着に向けた指導や家庭・地域への啓発に努めていると思いますか。
			保	お子さんは、早寝・早起き・朝ごはん・歯磨き・勉強が、きちんとできていると思いますか。
			子	あなたは、早寝・早起き・朝ごはん・歯磨き・勉強が、きちんとできていますか。
			教	学校は、基本的な生活習慣の定着に向けた指導や家庭・地域への啓発に努めていると思いますか。
	24	働き方改革	関	
			保	
			子	
			教	学校は、働き方改革が進んでいると思いますか。

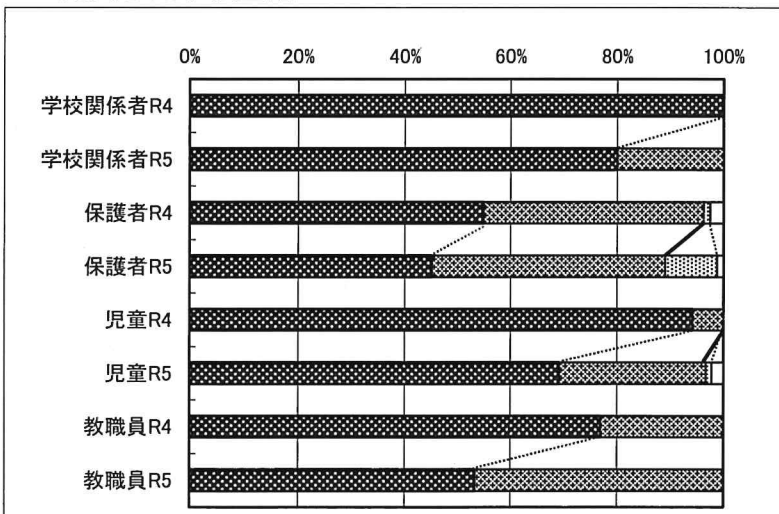
1 教育方針・目標の理解

■ そう思う □ どちらかという □ あまり □ そう思わない



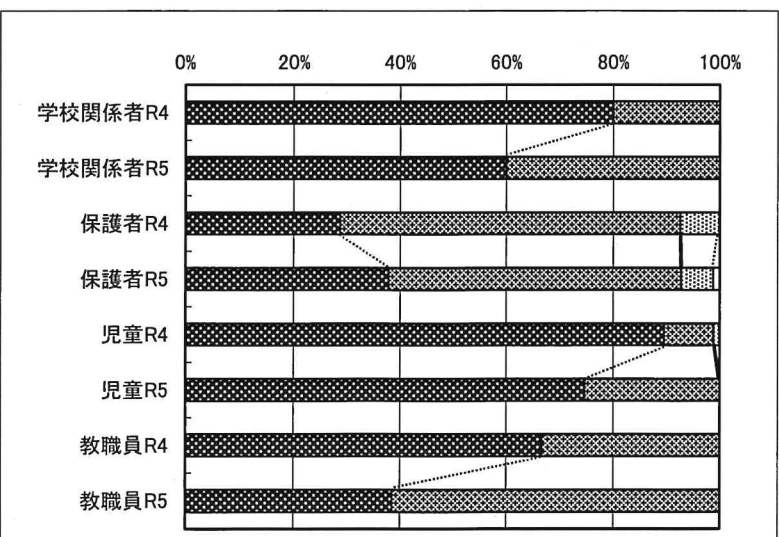
学校の教育方針・目標の理解の肯定的数値は高い。保護者で「そう思う」の数値向上が見られるが否定的評価の数値の割合が依然として高い。また、保護者の中には「そう思わない」の割合も増えている。今後、保護者にピンポイントでしっかりと伝えるような手立てが必要である。

2 充実した学校生活



全体では肯定的な評価が多い。しかし昨年度と比べ「そう思う」の割合がいずれも下がっている。コロナ禍が明け、行事や学校活動がもとに戻りつつある中でさらなる充実が求められる。児童で否定的な数値が出現してきており、個別の対応も求められる。今後も児童の「充実した姿」を求めて、学校生活が充実するような取組の工夫をし、目標設定をさせることを進める。それをクリアして達成感を味わった児童の姿を見届けていくと共に保護者へ伝えるような手立てが必要である。

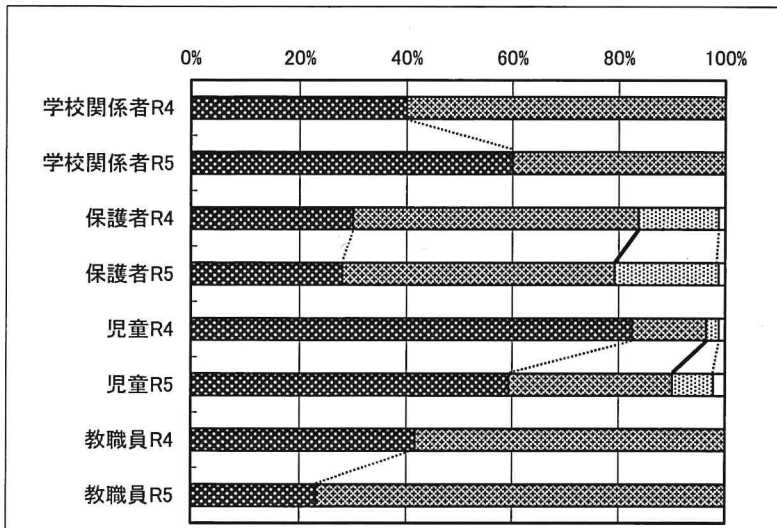
3 授業づくりの工夫



肯定的な数値が大半を占めるが、保護者の「あまりそう思わない」評価が確認でき、課題である。授業を公開する機会では、特に保護者に工夫した授業づくり、わかる授業、丁寧な授業を強く確信してもらうことが必要である。成長した児童の姿を認識していただくためには、まずは個々の授業力の向上である。学校総体で校内研修や日々の授業力向上プラン、管理職による授業参観を更に進め、授業改善をしっかりと実践していくことが必要である。また、今後さらに保護者の理解が深まるような授業公開の場づくりも検討していく。

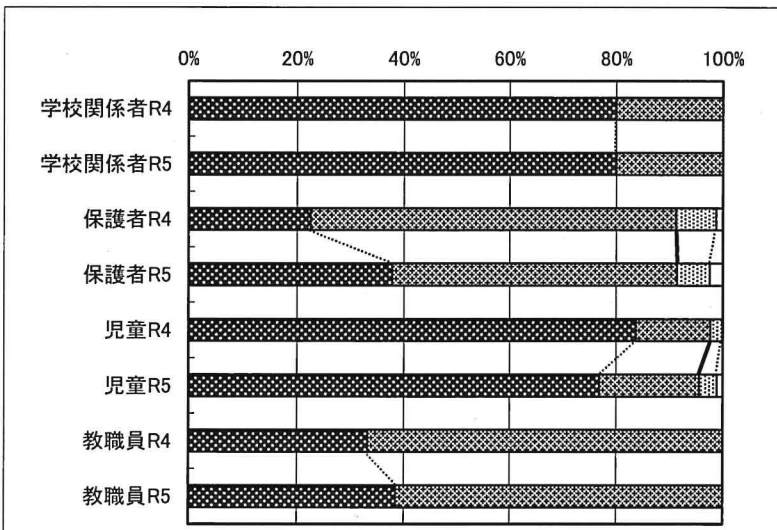


4 主体的な学習態度



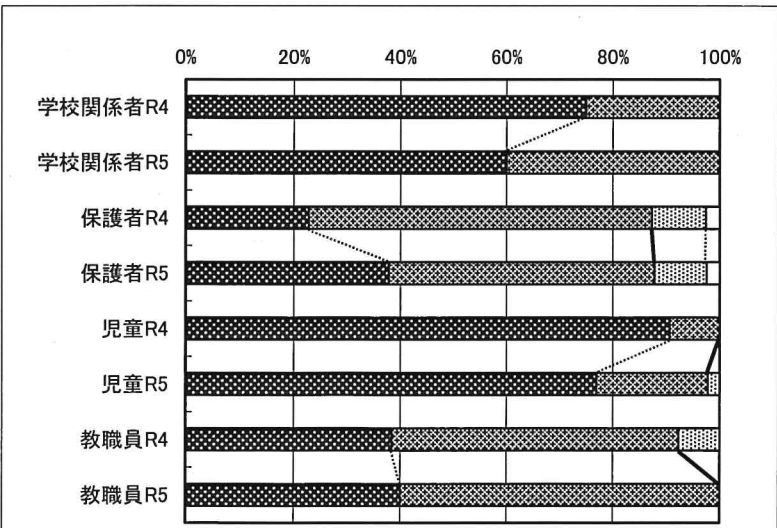
今年度ワースト4。昨年度より、数値が悪化が顕著な項目。保護者・児童とも否定的数値が見られる。児童にとっては自己に厳しい自己評価ともいえるが、主体的に学んでいることを実感させるための教師側の適切な指導が求められる。主体的な学習態度は、生涯にわたって学び続ける資質の基盤ともなるので日々の授業の中で最も大切にしていかなければならない。「自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する」といった問題解決学習に継続して取り組んでいくことが望まれる。また、保護者に対しては、今後も継続して児童の主体的な活動、意欲的な姿を通信・ホームページ等で紹介していく。

5 郷土愛の醸成とキャリア教育の推進



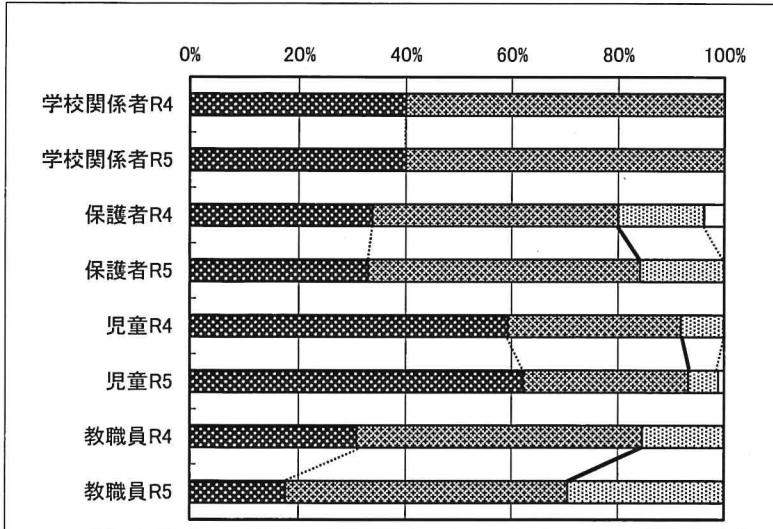
おおむね肯定的な評価が多いが、保護者の一部に否定的な評価が見られる。「そう思う」の割合が増えてきているのは、キャリアパスポートでのコメント等協力を得ていることもい珍かもしれない。今後は更に情報の発信等を十分に行い、保護者の参加の機会も模索しながら、キャリア教育への理解と協力を促していく。また、中学校とも連携を図りながらキャリアパスポートの共通理解、実施を推進していく。

6 道徳、心の教育の充実



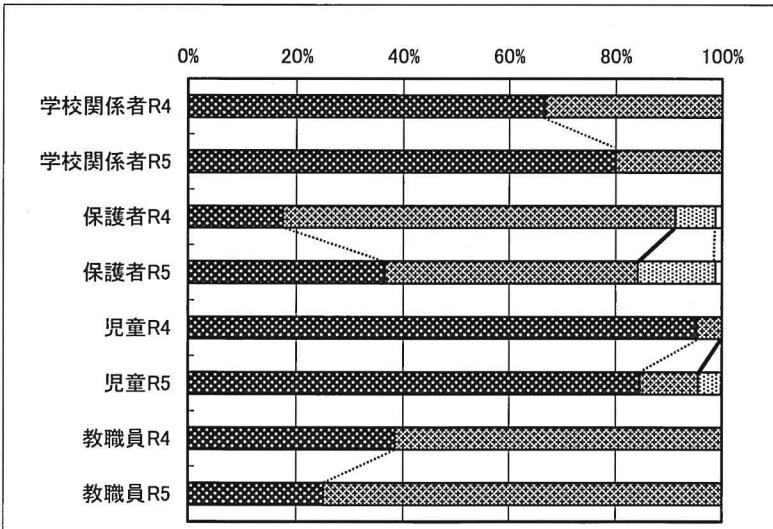
教職員・関係者については全てが肯定的な評価である。対して保護者の否定的な評価が1割強見られる。原因を探るとともに、道徳教材の家庭での親子読書等の取組を今後も継続し、また、教職員がさらに意識して、家庭へ啓発していくことが必要である。今後も引き続き、道徳の時間を中心としたすべての教育活動において、心の教育の充実を図っていく。

7 あいさつ、礼儀の励行



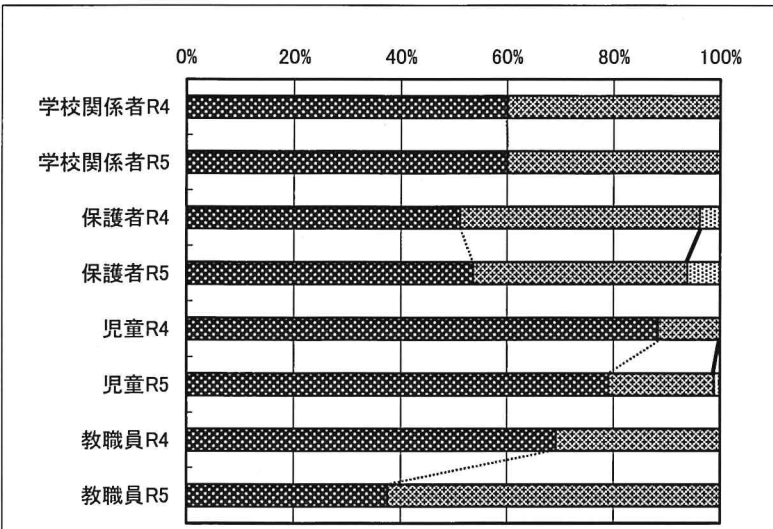
昨年度に比べ保護者の肯定的評価の数値の向上が見られた。担当を中心とした生徒指導等により校内でのあいさつは向上してきているが、地域・家庭でのあいさつの向上にはまだ至っていない。今後もこの結果を学校全体で真摯に受け止め、認め・ほめることを継続して推進していく。学校運営協議会、地域学校協働活動等の地域の教育力の活用や特別活動での学習・指導等での工夫が更に必要である。

8 一人一人の児童の尊重



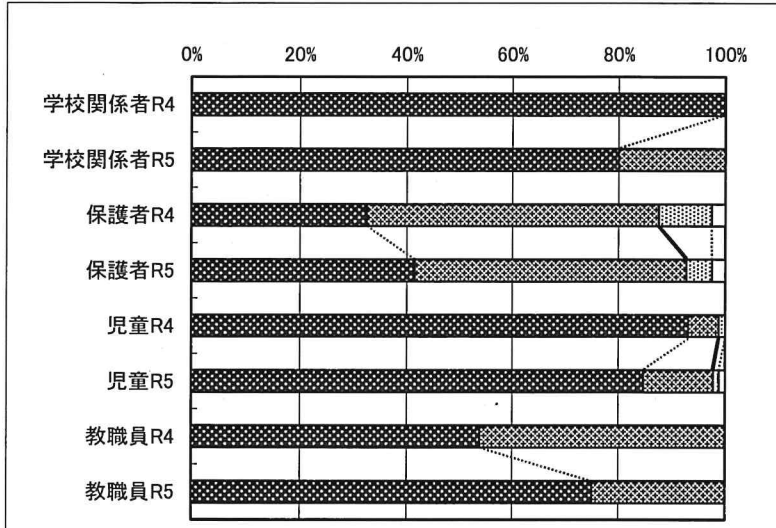
保護者・児童の否定的な評価が昨年度より増えている。心のアンケートや教育相談、面談等を行い、実態把握をはかり、より児童の寄り添った対応、チームによる適切な対応を心がけて実践しなければならない。今後は回数を増やしたり、即時性を持って、よりきめ細やかな対応が求められる。また、保護者との連携も更に密にする必要がある。さらに教職員は教育的愛情をおろそかにせず、自信をもって「そう思う」と回答できるだけの矜持を持たなければならない。

9 友だちへの思いやり



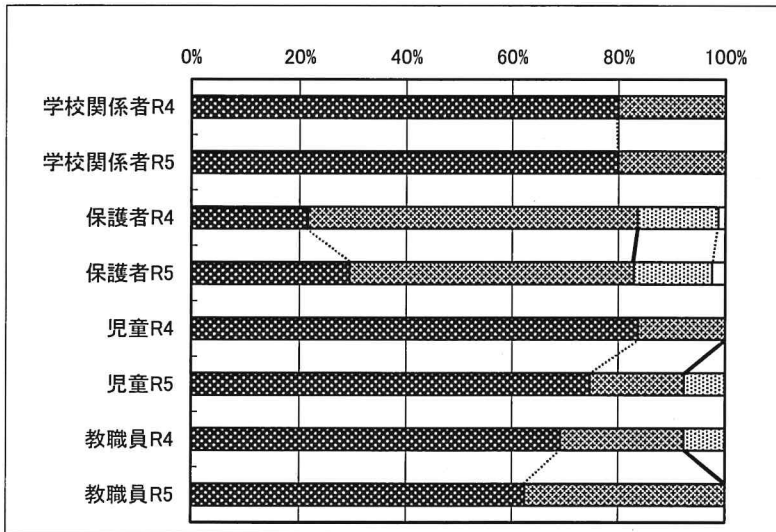
全体的には肯定的な評価が多数を占めている。しかし、保護者での否定的な評価があることや昨年度と比較して保護者・児童・教職員の「そう思う」の割合が減ってきている。このことを真摯に受け止め、原因を解明すると共に丁寧な説明、対応が必要である。引き続き学校全体で児童の人権意識を高める取組を一層強化していく必要がある。

1 0 学校行事への参加と工夫



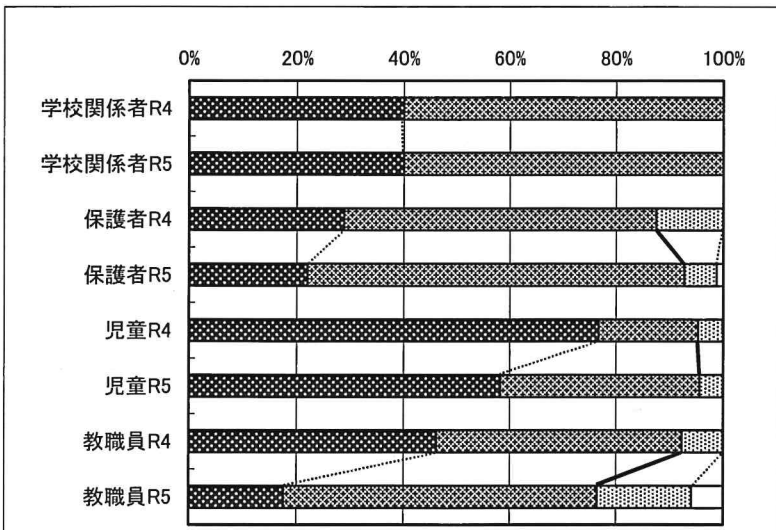
コロナ禍が明け、昨年度に比べ保護者の肯定的数値が上がった。しかし、まだ否定的評価があり、学校行事の更なる工夫・改善が求められる。児童の「そう思う」割合が高いことから満足度が高いことが分かるが、今後は、保護者、職員の「そう思う」割合の増加を目指していく。参加しやすい魅力ある行事にすべく内容や雰囲気づくりを更に工夫し、充実させていく必要がある。保護者や関係者、地域の方のより積極的な参加を企画していく。

1 1 児童理解



8 「一人一人の児童の尊重」と同じではあるが、まずは、教職員が教育的愛情をおろそかにせず、自信をもって「そう思う」と回答できるだけの矜持を持たなければならない。保護者の「そう思う」割合の少なさや否定的な評価が見られ課題である。学校内で職員全体でも児童理解の時間を設け取り組んでいるが、その取組がしっかりと伝わるような施策も必要である。

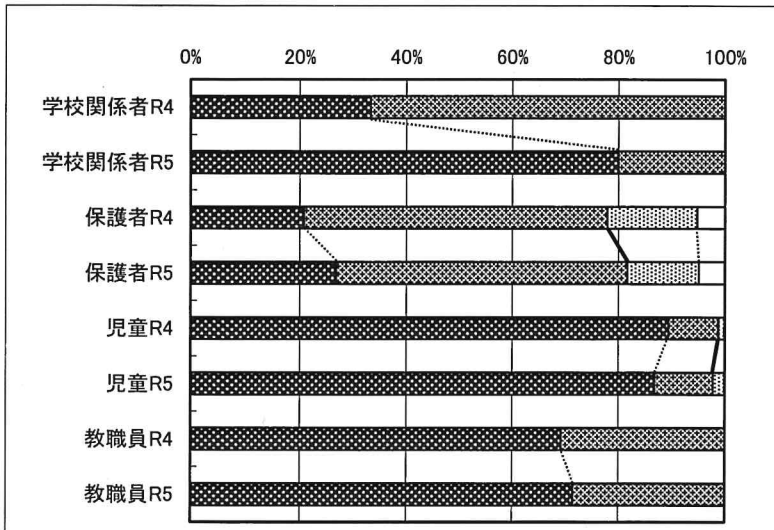
1 2 規範意識



規範意識の醸成については保護者・教職員・関係者共に「そう思う」はまだ少ない。また、否定的評価も見られる。児童の「そう思う」の割合が減ってきており課題である。「あまりそう思わない」数名の児童について丁寧な支援・指導が必要である。規範意識の向上が本校の課題の一つと教職員も強く認識している。今後、家庭や地域と協力して取り組んでいかなければならない事項の一つである。

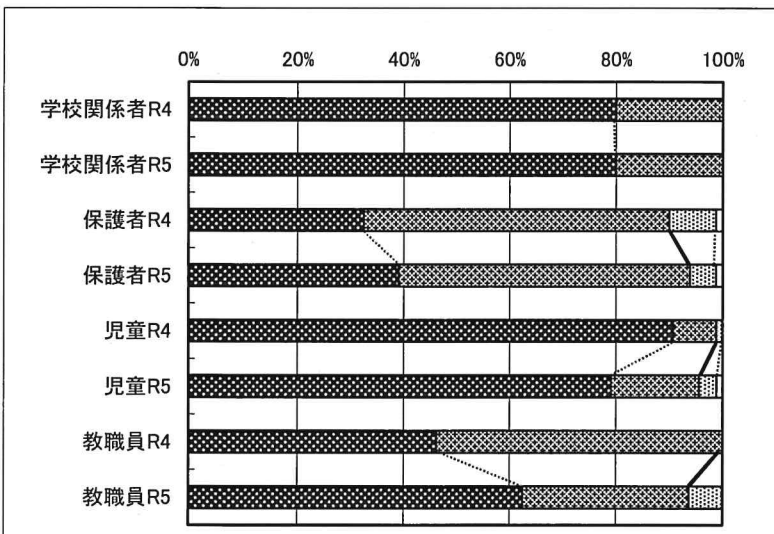


1 3 いじめや問題への対応



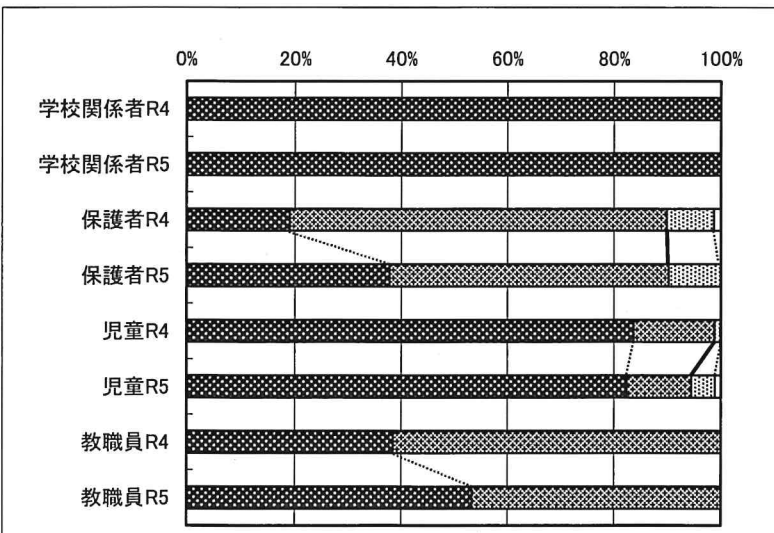
昨年度、23項目の中で保護者の肯定的な評価の数値が最も低かったが、本年度改善が見られる。定期的、また必要に応じて、いじめ不登校委員会を開催し、共通理解を図りながら取り組んできたことも改善の要因と考えられる。保護者からの問い合わせ、相談には即時、丁寧に対応をしてきているが、取組の情報公開等、更に進め、理解をしていただくべく努めていかなければならない。まだ児童への迅速な対応や保護者への十分な説明が不足していた可能性もあると真摯に捉える必要がある。教職員の対応の仕方についての共通理解・共通実践を図っていく必要がある。

1 4 安全と事故防止



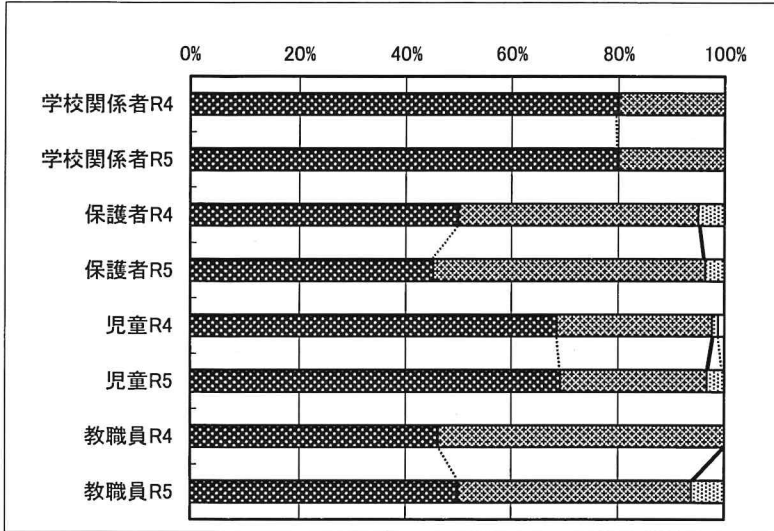
安全、事故防止については日頃から指導・支援を行ってきている。しかしながら、保護者、教職員での「そう思う」の割合が半数を占めていない現状がある。また、児童・教職員で否定的評価が見られるので、その原因を明らかにすることが急務である。今後は更に安心・安全な生活を意識付けさせるとともに、登下校中や地域での事故防止により一層取り組んでいく必要がある。学校が行っている安全面での取組を保護者へ啓発することも考えていく。

1 5 健康教育と食育の推進



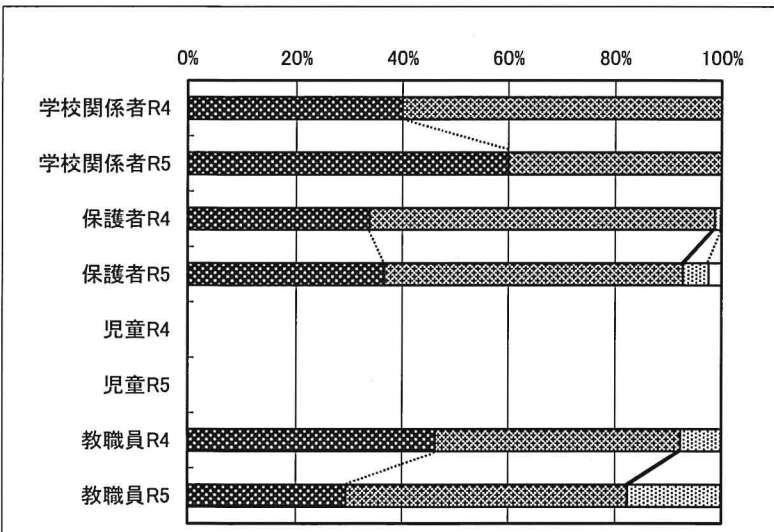
肯定的な評価が多く見られたが、否定的評価が少なくなるようさらなる改善が必要である。健康・安全面、特に養護教諭を中心に検診結果をもとにした受診や改善への働きかけ、感染症予防で徹底している取組や給食・食育担当を中心に食育の様々な取組を行ってきているので今後、それを更にわかりやすく啓発していく必要がある。

1 6 環境の整理・美化



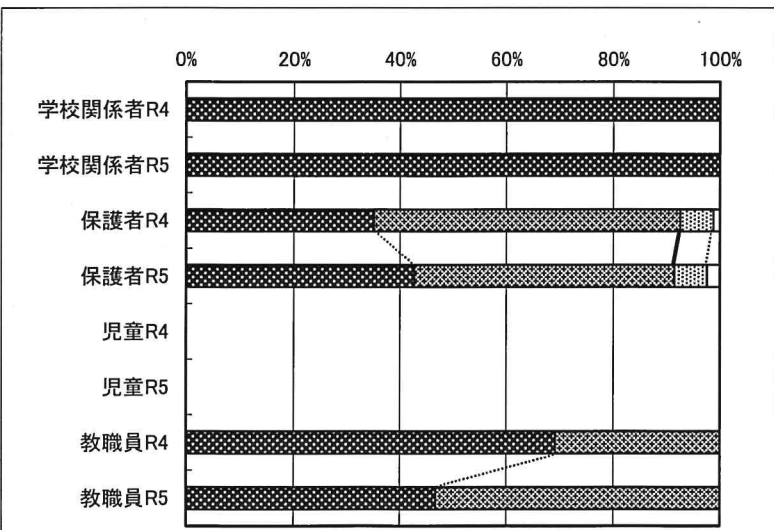
肯定的な評価が多い。「そう思う」の割合が増えるよう、できるところから着実に環境美化を続けていく必要がある。また、児童の否定的評価については教室内での自分の机、整理棚での整理整頓を厳しくつけているものであり、支援をしていく。

1 7 施設・設備の安全管理



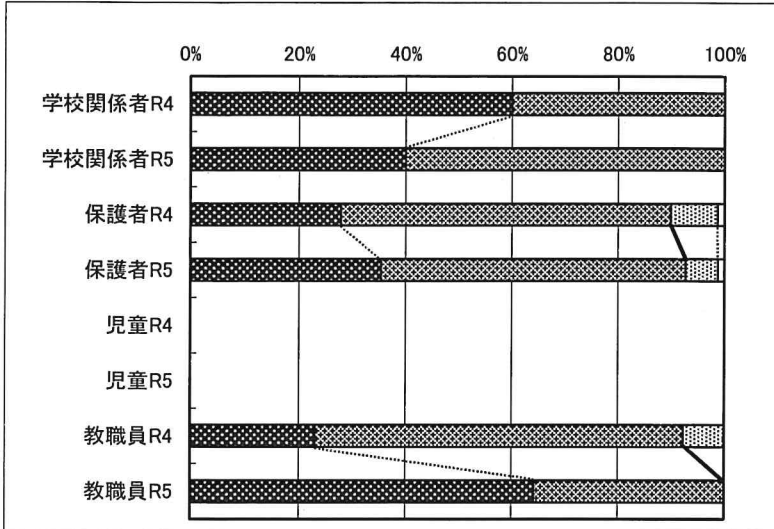
昨年度よりも否定的意見の割合が増えている。定期的に安全点検を実施し、修繕等が必要な部分は改善するように努めているが、今後も続けていく。学校施設・設備がやや老朽化しているため、早期発見、早期修繕を心がけていく。

1 8 学校の取組等がわかる情報発信



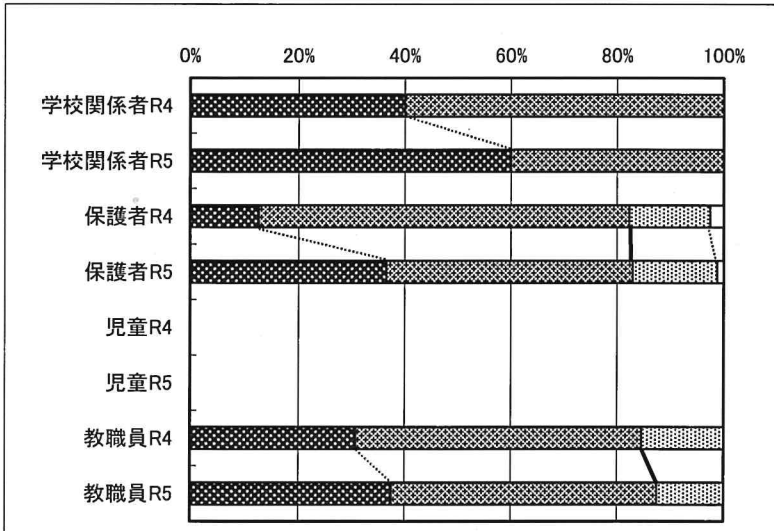
関係者・教職員とも評価が高い。学校便りを毎月、学級通信をほぼ毎週と発行を重ねている。ホームページについても継続的に更新、向上を図り、情報発信を心がけている。また、安心安全メールの活用も使用頻度を高め、情報発信に努めている。有用な情報発信になるよう心がけ更に「そう思う」割合を増加するように職員の共通理解を図り取り組んでいく。

1 9 教育活動への参加



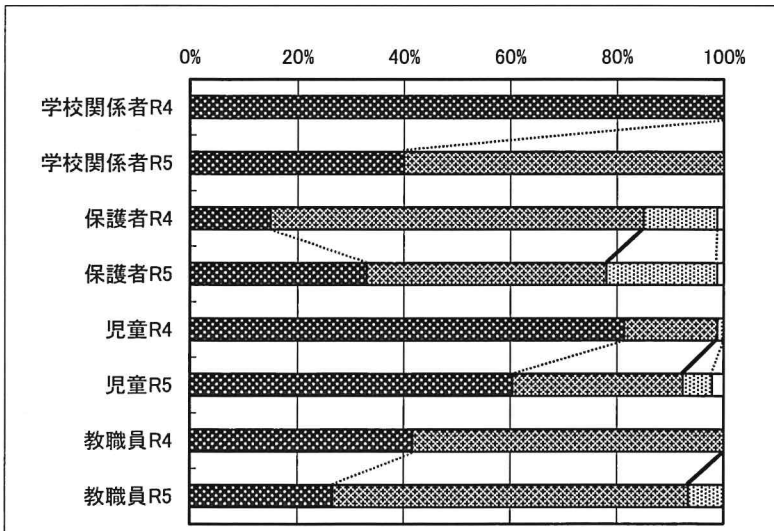
コロナ禍が明け、教育活動への参加も解除され、保護者・教職員で「そう思う」割合が増えたと考えられる。しかし学校関係者では「そう思う」割合が減っており、改善が求められる。地域学校協働活動推進員や老人会、社会福祉協議会、役場各課、地域の各種ボランティアの方々とは連携を持ち参加、協力をいただいた。今後も継続して、学校便りや学級通信、ホームページ等で情報発信し、保護者や地域の方々が学校の教育活動に参加しやすい体制を整えていく必要がある。

2 0 家庭や地域との連携協力



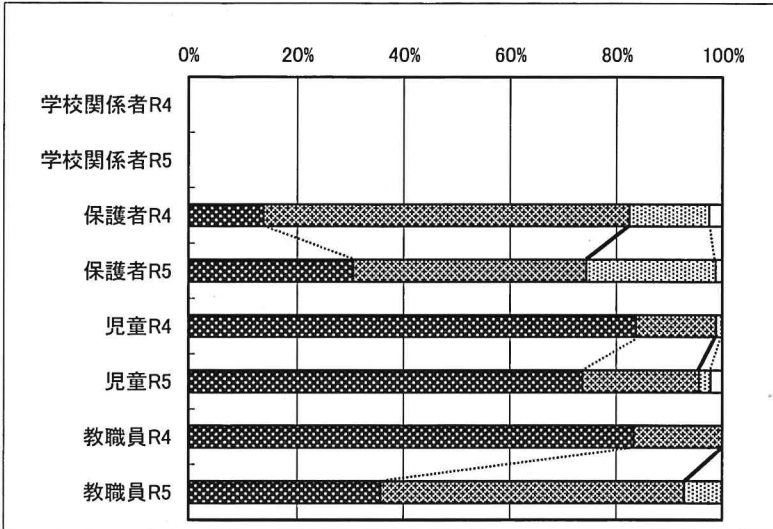
昨年度と比較して連携・協力できる機会を工夫しながら増やしていき結果にも表れてきている。今後も情報発信に努め、家庭との連携・協力体制を見直し、実践していくことが必要であり、保護者・教職員の否定的な評価の改善を目指す。

2 1 読書活動の推進・充実



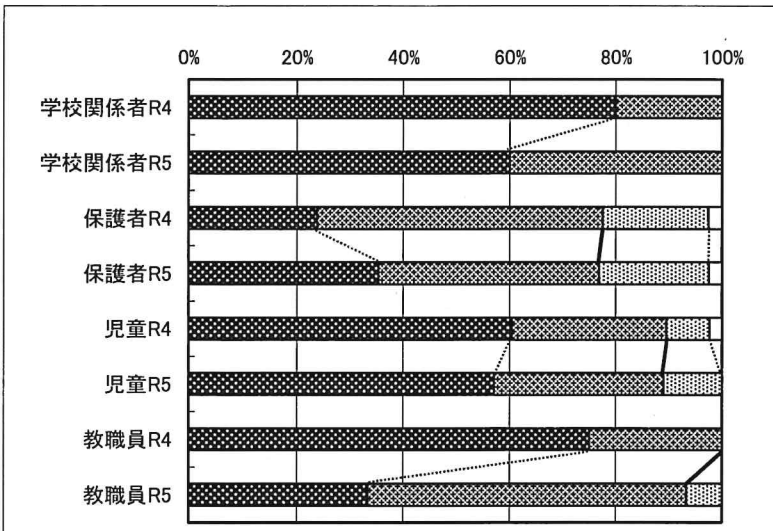
23項目の中で保護者の肯定的評価の数値が3番目に低い項目。保護者・児童・教職員とも否定的評価が増えてきている。「そう思う」割合は保護者・教職員でまだ低い状況である。本年度は読書活動の取組に学級差があったことは否めないで、学校総体として年間を通しての読書活動推進の計画を見直し、読書の機会を増やし、本好きの子どもを育成していくことを取り組んでいくことが必要。現段階で図書担当を中心に図書関連の行事・イベントの開催、図書だよりの発行を行ってきているので、それを生かしながら、今後読み聞かせボランティアの活動とも連携し、PTAや地域を巻き込んでの活動も考えられる。

2 2 学力向上 (家庭学習)



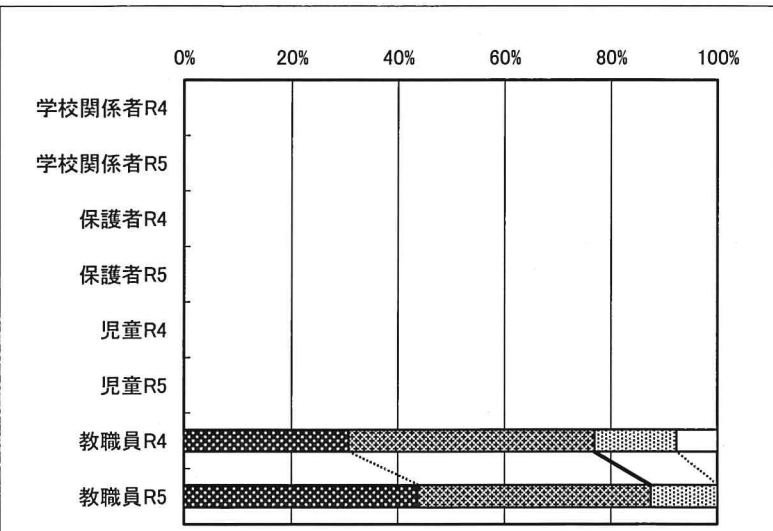
2 3 項目の中で保護者の肯定的な評価の数値が最も低い項目。保護者のみならず児童・教職員にも否定的な意見が見られる。改善が急務である。「そう思う」の割合について児童と、保護者・教職員でかなりの開きが見られる。この差の原因を追究するとともに、家庭との連携を図りつつ、保護者のニーズにも応えながら、児童の学力向上が効果的にできるものを検討していく必要がある。タブレットの持ち帰りやe-ライブラリー等の家庭学習も取り組み始めており、今後も活用し、家庭への活用効果の啓発を進めていく。

2 3 基本的生活習慣



昨年度に続き、2 3 項目の中で保護者の肯定的な評価の数値が2 番目に低い項目。保護者・児童・職員で否定的な評価が見られる。今後は深田っ子家庭の日、深田っ子ががんばりウィーク等、家庭と連携しての取組を刷新すること、更なる習慣化が必要である。また、家庭内での基本的生活習慣も含まれるので、PTAと連携し、懇談会や各種行事等で基本的生活習慣の定着に向けた指導や家庭・地域への啓発、外部専門家による支援の講演、講座の開催等も視野に入れながら検討を進めていく必要がある。

2 4 働き方改革



8 割弱が肯定的な評価だがその一方でまだ進んでいないという評価も見られる。教職員個別に改善された点、課題点を整理するとともに、ライフワークバランスや勤務時間の意識化、休暇の積極的な取得等の改善を進めていく。また、校務のスクラップアンドビルド、ICT化で作業の効率化を図っていく。PJ部会や隣接学年部も活用しながら建設的な意見を広く集め、今後、更に業務の改善による負担感の軽減を進めていかなければならない。

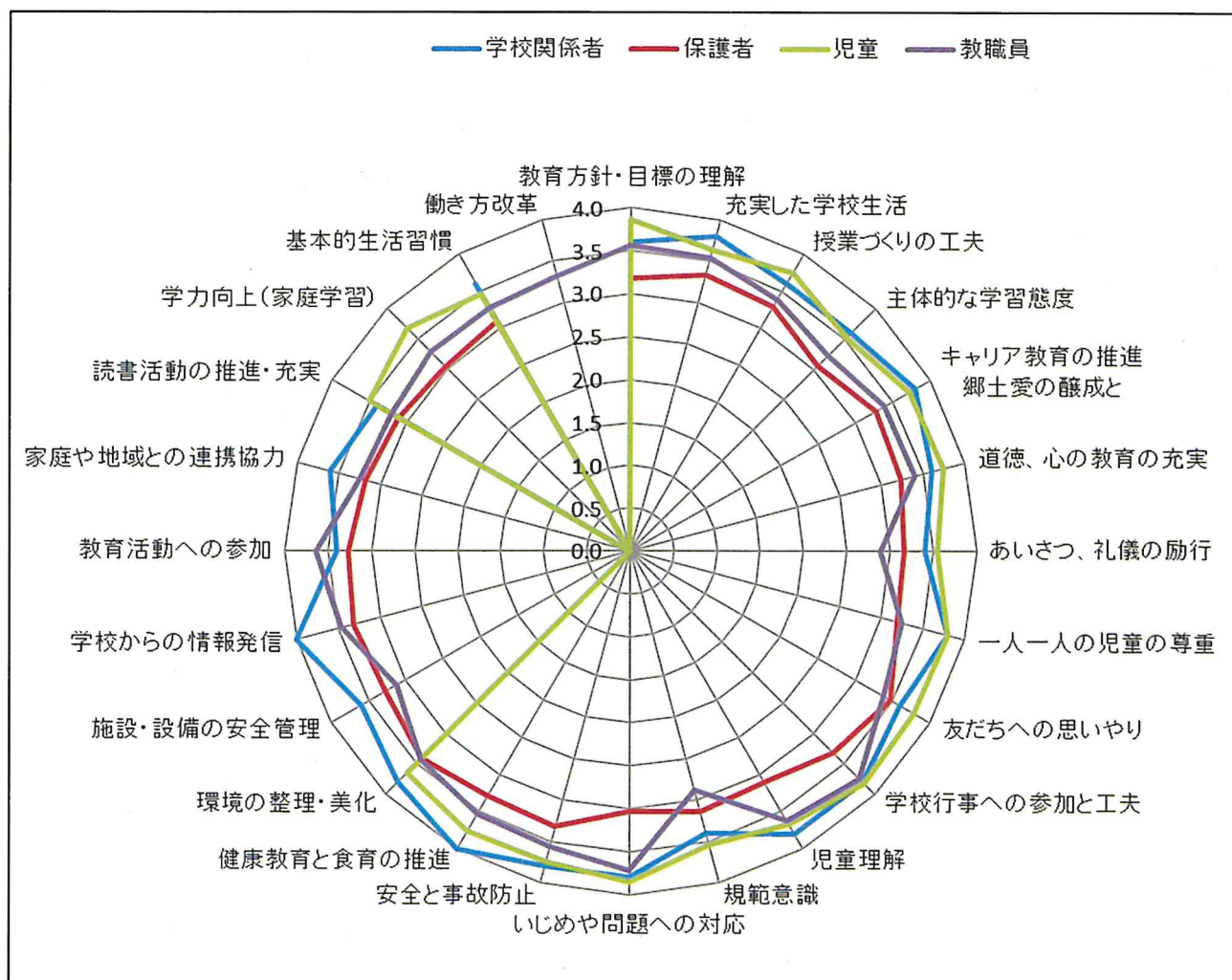
## 令和5年度 学校評価の結果【保護者アンケート】

(数値は、「4そう思う+どちらかというと思う」の割合%)

項目	保護者への設問内容	肯定的割合	4そう思う
⑯環境の整理・美化	学校は、校舎内外(花壇や掲示物など)がきちんと整理されていると思いますか。	96	45
⑨友だちへの思いやり	お子さんは、友だちとなかよくしていると思いますか。	94	54
⑭安全と事故防止	学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。	94	39
⑩学校行事への参加と工夫	学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。	93	41
③授業づくりの工夫	学校は、わかる授業、丁寧な授業づくりに努めていると思いますか。	93	38
⑰施設・設備の安全管理	学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。	93	37
⑲教育活動への参加	学校が公開している教育活動(行事、授業等)は、参加しやすいと思いますか。	93	35
⑫規範意識	お子さんは、規則やマナーを守っていると思いますか。	93	22
⑩学校の取組等がわかる情報発信	学校は、通信や便り、ホームページ等で、情報を十分発信していると思いますか。	91	43
⑤郷土愛の醸成とキャリア教育の推進	学校は、郷土を愛する心や、仕事や勤労及び将来について考える力の育成に取り組んでいると思いますか。	91	38
⑮健康教育と食育の推進	学校は、食事や睡眠、感染症対策など健康に対する意識を高めようとしていると思いますか。	90	38
②充実した学校生活	お子さんは、充実した学校生活を送っていると思いますか。	89	45
①教育方針・目標の理解	学校は、家庭に学校の教育方針や教育目標をわかりやすく示していると思いますか。	89	32
⑥道徳、心の教育の充実	学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にする「心の教育」の充実に努めていると思いますか。	88	38
⑧一人一人の児童の尊重	学校は、一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていると思いますか。	84	37
⑦あいさつ、礼儀の励行	お子さんは、あいさつがきちんとできていると思いますか。	84	33
⑳家庭や地域との連携協力	学校は、保護者や地域の方々とはよく連携をとっていると思いますか。	83	37
⑪児童理解	学校は、子どものことをよく理解していると思いますか。	83	29
⑬いじめや問題への対応	学校は、いじめや問題があったとき、すぐに複数の教師がチームで解決に向け動いてくれていると思いますか。	82	27
④主体的な学習態度	お子さんは、主体的に授業に取り組んでいると思いますか。	79	28
⑱読書活動の推進・充実	学校は、読書活動の充実に向けて取組を工夫していると思いますか。	78	33
⑲基本的な生活習慣	お子さんは、早寝・早起き・朝ごはん・歯磨き・勉強が、きちんとできていると思いますか。	77	35
⑳学力向上(家庭学習)	学校は、お子さんの家庭学習が進むように、その指導や働きかけの工夫を行っていると思いますか。	74	30



	教育方針・目標の理解	充実した学校生活	授業づくりの工夫	主体的な学習態度	キャリア教育の推進 郷土愛の醸成と	道徳、心の教育の充実	あいさつ、礼儀の励行	一人一人の児童の尊重	友だちへの思いやり	学校行事への参加と工夫	児童理解	規範意識	いじめや問題への対応	安全と事故防止	健康教育と食育の推進	環境の整理・美化	施設・設備の安全管理	学校からの情報発信	教育活動への参加	家庭や地域との連携協力	読書活動の推進・充実	学力向上（家庭学習）	基本的な生活習慣	働き方改革
学校関係者	3.6	3.8	3.6	3.6	3.8	3.6	3.4	3.8	3.6	3.8	3.8	3.4	3.8	3.8	4.0	3.8	3.6	4.0	3.4	3.6	3.4	####	3.6	####
保護者	3.2	3.3	3.3	3.1	3.3	3.2	3.2	3.2	3.5	3.3	3.1	3.1	3.0	3.3	3.3	3.4	3.3	3.3	3.3	3.2	3.1	3.0	3.1	####
児童	3.9	3.6	3.7	3.5	3.7	3.7	3.5	3.8	3.8	3.8	3.7	3.5	3.8	3.7	3.8	3.7	####	####	####	####	3.5	3.7	3.5	####
教職員	3.6	3.5	3.4	3.2	3.4	3.4	2.9	3.3	3.4	3.8	3.6	2.9	3.7	3.6	3.5	3.4	3.1	3.5	3.6	3.3	3.2	3.3	3.3	3.3



## まとめ

本年度もPTA活動及び学校行事等について、ただ戻すのではなく社会の状況や教育の方向を考えながら、よりよく戻す方向で学校経営を進めてきた。PTA会長をはじめ保護者の皆様、そして学校運営協議会員及び地域の皆様の大きな支援、更に教育委員会の懇切丁寧なご指導をもって、教育活動が円滑かつ充実したものになったことに感謝したい。

学年行事・プール開放・茶摘み・読み聞かせは、持続可能な組織とやり方が見えてきたと感じている。また餅つきや老人会との交流、そして運動会や学習発表会での地域との交流は、児童の学習意欲と効果を更に高めるとともに、地域の方の感想から参加者の「生きがい」や「やりがい」にもつながったと感じている。学校教育目標である「人のために働く児童の育成」には、この相手意識を持った取り組みが必要であったと信じる。今後も地域の負託に応え、地域とともに学校を発展させながら、職員の仕事の効率化を更に図ることが重要である。働きやすい職場になってきていると自負するので、職員にはやりがいのある職場へと自己変革を進めていってほしい。

学力面については、熊本県学力・学習状況調査の結果で見ると、県や町と比べ全体としては幾分良好な結果となった。同時に行う児童の心のありようの調査は、複数学年で課題が見られた。課題の大きい学年はもとより、各学年の課題や個に応じた課題に対する取組を年度またぎで取り組んでいく。生徒指導面では、問題や課題に対して、組織的・機動的・即自的に対応できる学校のシステムができた。保護者の理解や意向を聞きながら対応する大切さを職員も理解してきている。現在、「課題を課題のまま進級させない」を合言葉に、最後の学習時間まで職員一丸となって課題解決に取り組んでいるところある。

来年度も働き方改革を推進し、職員が働きやすい環境を創ることで、教育の質を上げる取組を継続してほしい。そのことで、児童の知・徳・体の向上を更に図り、新しい学校教育目標の実現に邁進してほしい。職員には、今まで言い続けてきた「新しいことに挑戦し、自分を更に向上させることが、自分や周りの幸せにつながる」ということを理解し実践していってくれるものと信じている。

この学校評価のあと、十分でなかった項目については、教頭が中心となって職員とともに考える機会を持った。職員に当事者意識を持たせ、まずは自分が努力し周りを変えていく意識を育てた。

令和7年度に150周年を迎える深田小学校のますますの発展を祈念し、感謝をもって一年を終わりたい。本当にありがとうございました。

あさぎり町立深田小学校  
校長 東 誠志